平成26年度補正予算の概要

生産局畜産部

平　成　２　７　年　１　月

農林水産省

～目次～

○畜産・酪農の収益性向上　・・・・・　１

○畜産・酪農の生産力強化　・・・・・　３

○自給飼料の生産拡大　・・・・・　５

○飼料用米の生産・利用拡大　・・・・・　９

○輸出促進緊急対策事業　・・・・・１１

畜産・酪農の収益性向上

【２１，０４４百万円】

対策のポイント

生産基盤の維持・拡大のため、高収益畜産への転換、生産性向上、畜産環境問題への対策を進めることにより、畜産・酪農の収益性向上を図ります。

＜背景／課題＞

・**畜産業においては、**配合飼料価格が上昇傾向にある中、高齢化や離農が進み農家戸数や飼養頭数が減少するなど、**生産基盤の弱体化が懸念**されています。また、混住化の進展により悪臭問題が顕在化し、畜産経営の存続のためにも**畜産環境問題の解決が課題**となっています。

・**我が国畜産の競争力強化のため、畜産農家をはじめとして、地域に存在する各種支援組織（コントラクター、ＴＭＲセンター、キャトルステーション等）や関連産業等の関係者（乳業、食肉センター等）が有機的に連携・結集し、地域ぐるみで収益性を向上させる取組、国産畜産物の需要創出による新たな市場獲得に向けた取組等を進めることが重要**となっています。

政策目標

○経営の効率化や収益性の向上による生産基盤の強化
○畜産経営の苦情発生件数の減少

＜主な内容＞

１．高収益型畜産体制（畜産クラスター）構築事業　　２００百万円

畜産農家、関係事業者の連携・結集により、地域ぐるみで収益性を向上させる畜産クラスターの構築のための新たな取組の実証や、全国的な普及活動等を支援します。

（補助率：定額
事業実施主体：民間団体）

２．畜産収益力強化対策　　２０，１１５百万円

畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な経営体（畜産農家、新規参入者、飼料生産受託組織。）の収益性の向上、畜産環境問題への対応に必要な機械のリース整備、施設整備等を支援します。

（補助率：１／２以内
事業実施主体：民間団体）

３．国産畜産物の新たな市場獲得のための技術開発促進事業　　７２８百万円

国産畜産物の新商品（生ハム、ソーセージ、チーズ等）の開発を可能とする製造加工技術の開発等の取組を支援します。

（補助率：定額、１／２以内
事業実施主体：民間団体）

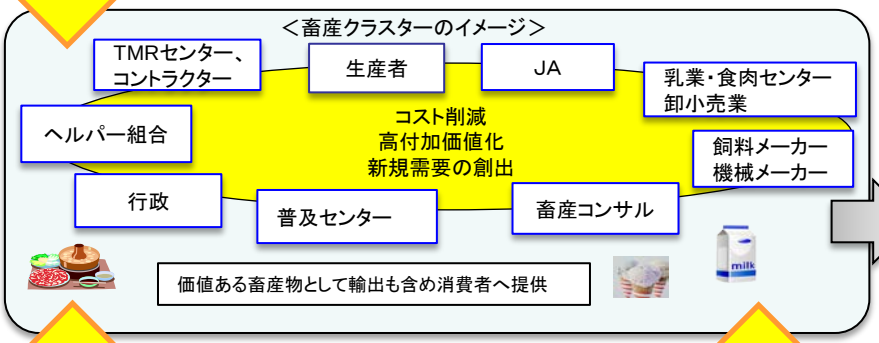
（お問い合わせ先：
１、２の事業　　生産局畜産企画課　（０３－３５０２－５９７９）
３の事業のうち
牛乳乳製品については　生産局牛乳乳製品課　（０３－３５０２－５９８７）
食肉鶏卵等については　生産局食肉鶏卵課　（０３－３５０２－５９８９）

畜産・酪農の収益性向上

高収益型畜産体制構築事業

➢ 検討会の開催、
新たな取組に関する調査･実証への支援

実証成果を
全国的に普及



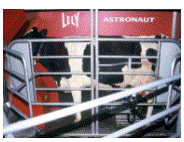
地域の関係者が連携・結集した取組により、
①生産コストの低減、高付加価値化
②地域内の畜産の中心的な経営体への再編・合理化
を通じて、地域の畜産の収益性を向上し、生産基盤を強化します。

畜産収益力強化対策

畜産収益力強化緊急支援事業

➢ 中心的経営体の収益性の向上等に必要な機械のリース整備を支援（１／２以内補助）

地域の収益性向上のための畜産クラスター計画に位置づけた中心的な経営体
（・畜産農家
・新規参入者
・飼料生産受託組織）


搾乳ロボット

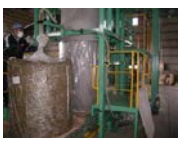
バルククーラー

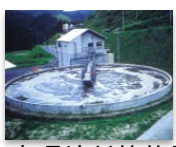
汎用型（稲WCS、トウモロコシ等に活用）飼料収穫機

畜産競争力強化緊急整備事業

➢ 中心的経営体の収益性の向上等に必要な施設の整備を支援（１／２以内補助）

ミルキングパーラー


飼料調製施設

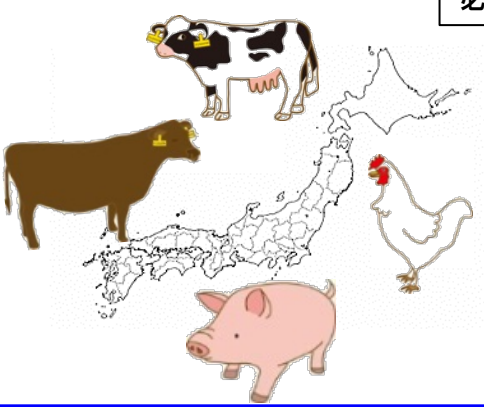

畜産環境対策施設

（※公社等が整備し、中心的な経営体に貸し付ける場合も含む）

国産畜産物の新たな市場獲得のための技術開発促進事業

➢国産畜産物の新商品開発を可能とする製造加工技術の開発等の取組を支援

新商品開発に
必要な技術開発等



国産畜産物を活用

ソーセージ

生ハム

チーズ　等

新たな市場獲得

畜産・酪農の生産力強化

【１，９７６百万円】

対策のポイント

酪農経営における受精卵移植・性判別技術を活用した優良な乳用後継雌牛の確保及び和牛主体の肉用子牛の生産拡大、和牛繁殖経営におけるＩＣＴ等の新技術を活用した繁殖性の向上等の取組により、畜産・酪農の生産力強化を図ります。

＜背景／課題＞

・大家畜経営の生産基盤の縮小が懸念される中、
（１）**酪農経営**においては、**交雑種子牛の生産が増加する一方で、乳用後継雌牛が減少**
（２）**和牛繁殖経営**においても、繁殖成績の低下等により、**和子牛の生産が減少**
しています。
・このため、優良な乳用後継雌牛の確保と和牛主体の肉用子牛の生産拡大等を通じて畜産・酪農の生産力を強化していくことが必要です。

政策目標

○優良な乳用後継雌牛の確保を通じた生乳の安定供給
○和牛の生産拡大による国産牛肉の安定供給

＜主な内容＞

畜産・酪農生産力強化緊急対策事業

１．酪農経営改善緊急対策　　１，７８０百万円

酪農経営における**優良な乳用後継雌牛の確保**及び**和牛主体の肉用子牛の生産拡大**を図るため、**畜産クラスター計画に基づく以下の取組**を支援します。

① **和牛受精卵を活用した和子牛生産の拡大、性判別受精卵・精液を活用した優良な乳用種後継雌牛の確保**等の経営改善に向けた計画的な取組
② **和牛受精卵等の生産拠点の機器整備**
③ **性判別精液生産機器の導入**
④ 受精卵移植技術の高位平準化のための**実技研修会等の開催**

２．肉用牛繁殖性向上緊急対策　　１９６百万円

畜産クラスター計画に基づき、和牛繁殖経営における**ＩＣＴ等の新技術を活用した繁殖性の向上**等を図る取組を支援します。

（補助率：定額、１／２以内
事業実施主体：民間団体）

［お問い合わせ先：生産局畜産振興課　（０３－６７４４－２５８７）］

畜産・酪農の生産力強化

畜産・酪農生産力強化緊急対策事業

酪農経営の収入増や肉用子牛の供給拡大による肥育経営のコスト削減による経営改善を推進

○ 酪農経営においては、交雑種の生産が増加する一方で、乳用後継雌牛が減少しており、和牛繁殖経営においても、繁殖成績の低下等により和子牛の生産が減少。

○ このため、受精卵移植・性判別技術等を活用し、優良な乳用後継雌牛の効率的な確保及び和子牛の生産拡大等を図る取組を推進。

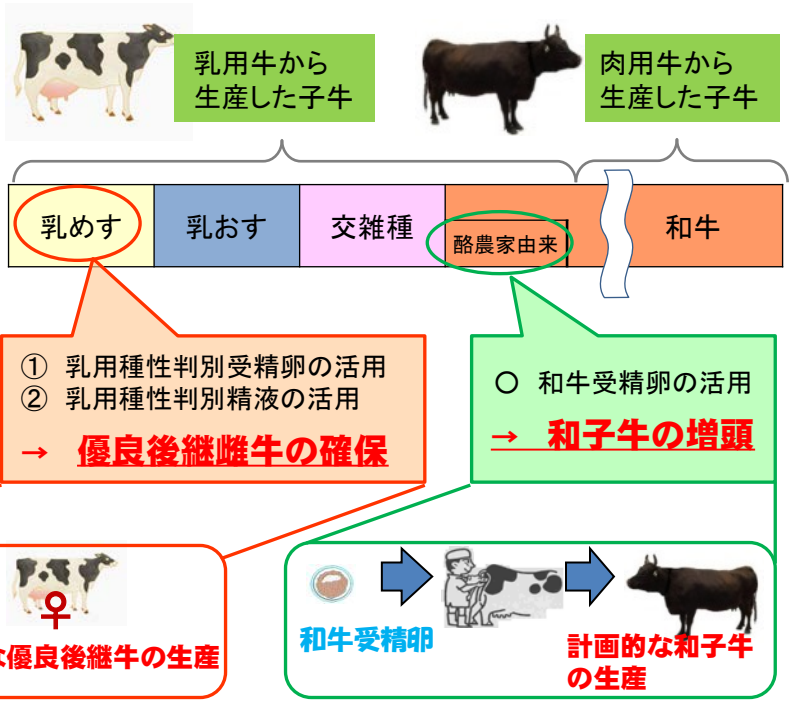
■ 優良な乳用後継雌牛の確保及び和牛主体の肉用子牛の生産拡大を支援

○ 受精卵移植・性判別技術等を活用した優良な乳用種後継雌牛の確保、和子牛生産の拡大等の経営改善に向けた計画的な取組

○ 和牛受精卵等の生産拠点の機器整備

○ 性判別精液生産機器等の導入

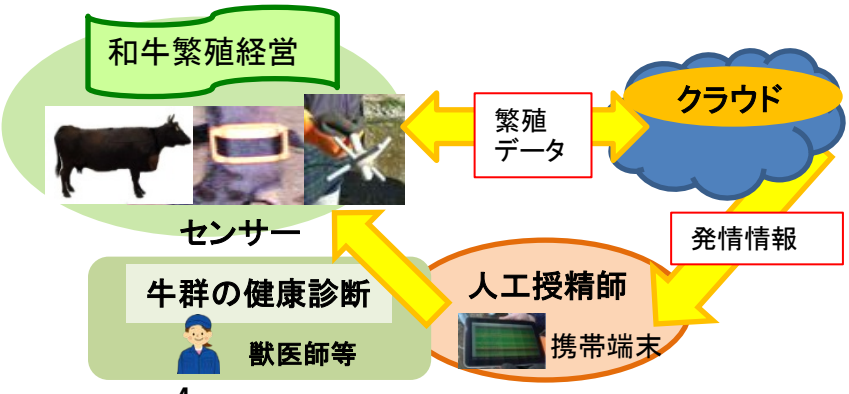
○ 受精卵移植技術の高位平準化のための実技研修会等の開催



■ ICT等を活用した繁殖性の向上等を図るための取組を支援

○ 繁殖雌牛の歩数や体温等から人工授精の適期等を判断するための機器の導入

○ 人工授精に関する情報等をクラウド上に蓄積し、飼養管理の改善・指導に活用



自給飼料の生産拡大

【９，６９８百万円】

対策のポイント

国産飼料の一層の生産と利用の着実な拡大により飼料自給率の向上を図り、国内の飼料生産基盤に立脚した力強い畜産経営を確立します。

＜背景／課題＞

・畜産物の生産コストに占める飼料費の割合は、酪農及び肉用牛生産で約４割、養豚及び養鶏で約６割となっており、飼料価格、**特に濃厚飼料原料の大宗を占める輸入穀物の価格動向は、畜産経営に大きく影響**します。

・我が国の畜産・酪農の競争力を強化するためには、輸入飼料依存から脱却し、**国産飼料の一層の生産と利用の着実な拡大**により飼料自給率を高め、**国内の飼料生産基盤に立脚した力強い畜産経営を確立**していくことが重要です。

政策目標

○飼料自給率の向上
○飼料作付面積の拡大

＜主な内容＞

１．飼料増産総合対策事業（草地難防除雑草駆除対策事業）　２，００２百万円

難防除雑草駆除計画を策定し、その**計画に基づく高位生産草地への転換**（除草剤散布、耕起、砕土、整地、施肥、土壌改良資材投入、優良品種の導入（畑作物を除く）等による施工）の取組を支援します。

（補助率：定額、１／２以内
事業実施主体：民間団体）

２．飼料用米の利用拡大に向けた畜産機械リース事業　５，９３８百万円

畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体（畜産農家、新規参入者、飼料生産受託組織）が行う**飼料用米の保管・加工・給餌等に必要な機械のリース整備**を支援します。

（補助率：定額（事業実施主体へは１／２）
交付先：（独）農畜産業振興機構
事業実施主体：（独）農畜産業振興機構による公募）

３．配合飼料供給体制整備促進事業　３５８百万円

国産飼料原料を活用した配合飼料の低コストかつ安定的な供給体制を構築するため、**国産飼料原料供給業者や配合飼料工場等が連携して行う計画策定、低コスト流通モデルの普及啓発、設備導入**等の取組を支援します。

（補助率：定額、１／２、１／３以内
事業実施主体：民間団体）

４．草地関連基盤整備＜公共＞　　１，０００百万円（農村振興局計上）

農地集積の加速化、農業の高付加価値化のための大型機械体系に対応した効率的な飼料基盤の整備を支援します。

離農農家の草地の円滑な継承を図るため、新たに**草地改良と併せて行う施設用地確保のための離農施設の撤去**や、**牧柵の除去等の簡易な基盤整備等**を支援します。

農業農村整備事業（草地関連基盤整備）
補助率：１／２等
事業実施主体：都道府県、事業指定法人等

５．自給飼料の生産拡大を支える研究開発　　４００（－）百万円

畜産物の低コスト安定生産を図るため、**イアコーン（子実、芯、穂皮から成る雌穂）など新たな自給飼料の給餌と放牧を組み合わせた牛肉生産技術体系を確立**するための実証研究を推進します。

農林水産業の革新的技術緊急展開事業のうち
畜産の競争力強化のための技術体系確立
補助率：定額
事業実施主体：民間団体等

お問い合わせ先：

１、２の事業	生産局畜産振興課	（０３－３５０２－５９９３）
３の事業	生産局畜産振興課（畜産側）	（０３－３５９１－６７４５）
	生産局穀物課　（耕種側）	（０３－３５０２－５９６５）
４の事業	生産局畜産振興課	（０３－６７４４－２３９９）
５の事業	技術会議事務局研究推進課	（０３－３５０２－７４３７）